

Sentinel LDK RTE アップグレード後のライセンス認証エラーとその対策方法

本資料の目的

この資料では、Sentinel LDK Run-time Environment (以下、RTE) のバージョンアップグレード後に起こり得る保護対象アプリケーションの起動エラーとその対策について説明します。

発生条件

Sentinel LDK v7.3 またはそれより古いバージョンの Licensing API または Envelope により保護されたアプリケーションの動作環境で、RTE が v10.11 またはそれ以降のバージョンにアップグレードされた。

主な症状

- ライセンスキー (Sentinel HL、SL キー) の認識失敗によるアプリケーション起動エラー。
- 本現象が発生すると、例として以下に類するエラー (ステータスコード、メッセージ) が生じます。
 - HASP_HASP_NOT_FOUND (Status Code 7)
 - H0007 (Key Not Found)

原因

RTE v10.11 において、同インストーラに含まれる Sentinel LDK License Manager が使用する通信プロトコルに関する変更が適用されましたが、v7.3 以下の Envelope または Licensing API はこの変更に対応していません。

対策方法 1 – アプリケーション側での対応

条件 1: v7.0 ~ v7.3 の Envelope または Licensing API により保護されたアプリケーションの場合
以下リンクから 最新版 hasp_rt.exe を入手し、これをアプリケーションフォルダに配置します (既存の同名ファイルが配置されている場合は上書きします)。

ダウンロードリンク:

[Sentinel LDK Windows External License Manager \(Runtime 10.13\)](#)

注) ただし、Sentinel LDK 7.3 以下は サポート終了バージョンのため、恒久的解決には以下の「条件 2」で説明する新開発キットによる再保護適用が推奨されます。

条件 2: v6.4 以下の Envelope または Licensing API により保護されたアプリケーションの場合
開発キット Sentinel LDK 10.0 の Licensing API または Envelope で対象アプリケーションを再保護します。

ダウンロードリンク:

[Sentinel LDK 10.0 SDK Downloads](#)

Sentinel-LDK_SDK.zip - "Sentinel LDK 10.0 release for Windows"

対策方法 2 – RTE 側での対応

RTE を本原因に該当しない旧バージョン (v9.16) にダウングレードします。同バージョンのインストーラは [KB0029402](#) 上で入手可能です。

注) インストール先の OS バージョンやその他諸条件によっては RTE のバージョンアップグレードが不可避な状況が考えられます。したがって、この方法は適用可能な条件や場面が限られるため、あくまで暫定的な対策となります。

参照情報:

[KB0029402](#) - Sentinel Key Not Found (H0007) After Installing a New Application Licensed with Sentinel LDK

本書に記載される情報は完全かつ正確であるように最善を期していますが、本書の誤りまたは情報の欠落による直接的または間接的損害、または事業の損失に対し、弊社は責任を負いません。本書に記載されている仕様は、予告なく変更される場合があります。

2025 年 04 月
タレス D I S ジャパン株式会社
S R M 事業部 クライアントサービス部